

うつのみや



社協だより

平成28年10月1日発行

編集発行 **162号**

社会福祉法人
宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
FAX 028-638-9856
<http://www.utsunomiya-shakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会 検索



ブロック別福祉協力員表彰式・研修会を開催



6月29日(水)から7月7日(木)にかけて、中央ブロック、東部ブロック、西部ブロック、南部ブロック、北部・上河内・河内ブロックの5ブロックごとに福祉協力員表彰式並びに研修会を開催しました。

第1部では、10年以上の長きにわたり、地域福祉にご尽力いただいている福祉協力員の皆さまへの表彰を行いました。

第2部の研修会では、「地域包括ケアシステムと認知症ケア～地域で支える・ケアで支える～」をテーマに、地域包括支援センター清原センター長の塩澤達俊氏にご講演いただきました。また、各ブロックを代表して、錦地区、石井地区、姿川地区、雀宮地区、国本地区における福祉協力員の活動事例発表を併せて行いました。

“うつのみや社協だより”は、 **回覧** です。よろしくお願い申し上げます。

皆さまからお預かりした社協会費は、宇都宮市社協が推進する地域福祉事業に活用されています。皆さまの協力をよろしくお願いいたします。

サロン

「第2いきいきサロン緑」(緑が丘地区)

～喫茶店の休憩時間がご近所のサロンに～



サロン情報

開催日時：毎月第3金曜日 午後2時～午後4時

場 所：喫茶店

代 表 者：横田優よこた ゆたかさん(緑が丘2丁目自治会福祉部部长)

立ち上げ動機：市内でも高齢化率が高い緑が丘地区。団地が分譲された頃は若い世代が多かったが、子ども達が自立し、一人暮らしの高齢者が増えてきました。高齢者が孤立しないためにも、近所に出かける場所を作ろうと、サロンを立ち上げました。



実施内容

- ・おしゃべり
- ・折り紙や「刺し子」など制作活動
- ・地域包括支援センターなどの協力による講話

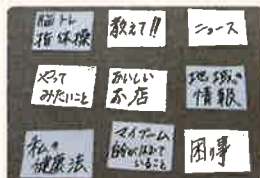


▲近所で集まり、気兼ねなくおしゃべりできるのが何よりの楽しみ

地域の集まりを喫茶店で「サロン」に

元幼稚園の先生が大人向けの読み聞かせをしながら、いろいろな話題でおしゃべりをする集まりを開催していたのが始まりで、その活動を地域のサロンにつなげていきました。

近所の喫茶店のご協力により、営業時間外の約2時間は地域の誰もが集う「サロン」に看板を替え、ご近所同士、おしゃべりが弾みます。



▲おしゃべりネタを用意



▲喫茶店が地域のサロンに

サロンのアピールポイント

女性の参加者が多く話はずきませんが、話のネタをカードに用意して、一人ずつ話していただくなど、皆さんが楽しめるよう工夫しています。自治会福祉部長の横田さんが参加者の緊急連絡網などもしっかりと整備されているので、安心して参加することができます。

福祉協力員

桜地区 福田光子ふくだ みつこさん・渡辺悦江わたなべ よしえさん・伊藤安代いとう やすよさん(西一の沢本町自治会)
飯野厚子いいの あつこさん(一の沢睦会自治会)



活動年数：福田光子さん/14年目(福祉協力員連絡会会長)

渡辺悦江さん/14年目

伊藤安代さん/10年目

飯野厚子さん/4年目

活動内容：ふれあい会食会の運営

近隣の方への見守りや声かけ、敬老会の運営など



〈福田さん 伊藤さん 渡辺さん 飯野さん〉

自分たちも楽しみにしている「ふれあい会食会」

福祉協力員活動のきっかけは自治会長さんからの依頼で、割と気軽に引き受けました。とはいえ、はじめは活動内容も手探りでしたが、ふれあい会食会などを通じて地域の高齢者をはじめ、たくさんの方とお知り合いになれたことによって、やりがいを持って活動することができました。参加者の皆さんと笑顔で過ごす会食会は楽しさがあふれていて、次回開催に向けてパワーがもらえます。



▲和気あいの雰囲気ながら、てきぱき！

抜群のチームワーク

活動中はとにかく和気あいあい。経験の長短に関わらず平らな関係です。意見やアイデアを自由に出し合える雰囲気の中で、仲間とともにより良い活動にしようという思いがチームワークの良さを生み出しています。楽しい中にも、お互いの信頼関係が活動を支えています。



会食会終了後の反省会では活発な意見交換も▲

紹介コーナー

ゆとり会 (錦地区)

～交流スペース活用で、広がる人のつながり～

★ サロン情報

開催日時：毎月第2日曜日 午後2時～午後4時
 場所：マロニエハイツ地域交流スペースゆとりえ
 代表者：西原高喜さん(福祉協力員)
 立ち上げ動機：集合住宅の中には一人暮らしの高齢者が多く、月に1回でも病院以外に「行くところ」「人とふれあえるところ」が必要と考え、サロンを立ち上げました。
 参加費：100円(お茶菓子代)

★ 実施内容

主にボランティアさんを招いてのお楽しみ企画と、お茶を飲みながらのおしゃべりタイム。
 パソコンやタブレットを使っての動画鑑賞など。



◀スクリーンで動画を見ながら体操

「地域交流スペース」を活用して、皆の居場所に

高齢者向け優良賃貸住宅内にある地域交流スペースは、サロン以外にも活用されている部屋で、バリアフリーとなっており、参加者の方も集まりやすい環境です。



サロンのアピールポイント

同じ集合住宅の住人どうしで、豊かな人生を送るために始まったサロンです。恵まれた環境の中で皆楽しく活動しています。平成26年3月の開始以来、次第に参加者も増え、集合住宅居住者以外の地域の方の参加も増えてきました。おかげさまで住宅内外に顔なじみが増えて、行き会えばあいさつや世間話ができるような関係もできてきました。

月に一度の皆の居場所を通じて、人と人のつながりが広がっています。

◀交流スペースでは話もはずみます!

紹介コーナー

御幸ヶ原地区 ゆはらさなえ 湯原早苗さん (御幸ヶ原町中央自治会)

活動年数：23年目
 活動内容：近隣の高齢者等の見守り声かけ・おしゃべりサロン・ふれあい会食会・福祉蕎麦まつり・心の一品配布事業・敬老会・御幸ヶ原地域まつり など



福祉協力員の活動を通じて感じることは?

福祉という視点に留まらず、生活やふれあいの中での気づかいや思いやりが、福祉協力員としての活動の原点と思っています。例えば、近所で困っている方を見かけたら「どうしました?何かお困りですか?」とさりげなく声をかけ、本当にお困りの方がいらしたら、福祉協力員どうしが連携したり、民生委員さんや近親の方にお知らせするなど、継続して見守っていくことが、実は、とても大切な事と感じています。また、福祉協力員どうしも仲良くなり、色々なイベントや事業を実施するうえでも、皆でアイデアを出し合い、よりよいものを創っていくということを、楽しく実践できています。皆さまに感謝、「ありがとう」という気持ちでいっぱいです!

安心して暮らし続けることができる、御幸ヶ原地区にするために必要なことや出来ることは?

御幸ヶ原地区も高齢化が進んでおり、今まで以上に地域の中での「共助」が必要です。その中でも男性の方々にもっと地域デビューをしていただけたら嬉しいです。また、見守りや声かけ活動、防災・減災の取り組みも、地区単位や自治会単位よりも、区(班)単位で進めることが必要ではないかと思えます。顔の見える範囲、すぐに駆けつけることができる範囲での活動が実を結びと思えます。そのために、福祉協力員のきめ細やかな、また軽やかな活動も、ますます重要になってきます。皆でがんばりましょう!

地域の人たちと自然体で接し、お互いに気づかい、支えあい、喜びあうをモットーに、福祉協力員の仲間と楽しく活動しています。



▲御幸ヶ原地域まつりでの「健康福祉コーナー」の活動の様子

ボラセン
情報コーナー



ボランティアセンターで行っている事業を紹介します。

災害福祉救援 ボランティア養成講座を開催

ボランティアセンターでは、過去の災害の記憶を振り返るとともに、災害発生時の被害を減らす意識(減災意識)の向上と実践につなげることで、さらには災害時に活動するボランティアの養成を目的に、毎年「災害福祉救援ボランティア養成講座」を開催しています。

今年は、6月11日から7月9日の毎週土曜日(全5回)に開催しました。

市危機管理課

危機管理の現状と
災害時の心構えについての講話



中央消防署

AED・心肺蘇生法の実践



日本赤十字社栃木県支部

高齢者への生活支援(身体洗浄など)



災害時に要援護者となる障がい者への理解 さまざまな障がいについて、体験を交えながら学びました。

【聴覚障がい】聞こえない体験



【視覚障がい】手引き体験



【身体障がい】車いす介助体験



災害ボランティアセンターの流れ

災害ボランティアについての講話やロールプレイングを通して、災害ボランティアセンターにおける動きを学びました。



参加された皆さんの声



Aさん

災害時のボランティアについて、多角的に学びを深めることができました。
この学びを振り返りながら、災害時や緊急時に活用できるようにしたい。

Bさん

体験型が多く、毎回新しい知識・技術を身につけて帰ることができて、今回も来て良かったと思う、とても充実した5回の講座でした。

ボランティア入門講座

ぼらんていあ Saturday

聴覚障がい
を学ぼう

視覚障がい
を学ぼう

を開催しました！！



7月23日(土)

<聴覚障がいを学ぼう>



7月30日(土)

<視覚障がいを学ぼう>



ボランティアセンターで毎年開催している「ぼらんていあSaturday」。ボランティア活動実践の“きっかけづくり”の場とすることを目的に行っています。

今回は「聴覚障がいを学ぼう」「視覚障がいを学ぼう」と題し、「聞こえない（聞こえにくい）」「見えない（見えにくい）」障がいについて当事者から話を聞き、理解を深めるとともに、手話やアイマスクなどゲームを交えて、楽しみながら学んでいただきました。

これからも、ボランティア活動をやってみたいと思う方が、気軽に参加でき、互いに交流を深められる様々な事業を展開していきます。ぜひ、ご参加ください。

※「ボランティアセンター登録団体紹介コーナー」は、今回はお休みです。

【お問い合わせ】ボランティアセンター（総合福祉センター8階）
電話 636-1285 FAX 634-2870
ホームページもご覧ください。「宇都宮市社協ボラセン」で検索

第10回 宇都宮市民福祉の祭典

を開催します！

日時:平成28年
11月23日(水・祝)
午前9時～午後2時30分
場所:宇都宮市総合福祉センター、
オリオンスクエア、
まちかど広場 他

子どもからお年寄り、障がいのある人など、多くの市民が参加し、様々な催し物や体験などを通して交流することで、福祉への理解や連帯感を深め、誰もが住み慣れた地域や家庭で、安心して、笑顔で生活できる福祉社会をつくることを目的に開催します。

- 福祉書道展・福祉絵画展 ○福祉パレード
- 福祉バザー ○模擬店 ○ステージ発表
- 団体活動パネル展示 ○各種体験コーナー
- 介護相談・行政相談 等

**スタンプラリーに参加して、
ミヤリーちゃんと写真を撮ろう！**



開会式



福祉パレード

【主催】宇都宮市民福祉の祭典実行委員会
【事務局】宇都宮市保健福祉部保健福祉総務課 並びに 宇都宮市社会福祉協議会
【お問い合わせ】宇都宮市社会福祉協議会ボランティアセンター 電話:636-1285

障がい者福祉センター作品展のご案内

各種講座(絵手紙・組紐・水墨画・パソコン・書道・絵画)や地域活動支援センターに参加・利用している皆さまの作品を下記の日程で展示いたします。ぜひ、ご覧ください。

「カルフルとちぎ2016」

会場:とちぎ福祉プラザ
期日:平成28年10月28日(金)～29日(土)

「宇都宮市民福祉の祭典」

会場:宇都宮市障がい者福祉センター
期日:平成28年11月23日(水・祝)

「宇都宮市民プラザ作品展」

会場:表参道スクエア
期日:平成28年12月5日(月)～16日(金)

「宇都宮市民ホール作品展」

会場:宇都宮市役所
期日:平成29年1月16日(月)～20日(金)



書道



絵画



組紐



地域活動支援センター利用者
合作によるちぎり絵



パンフラワー

【お問い合わせ】障がい者福祉センター(総合福祉センター2階)
電話639-1050 FAX639-1052



～今年も、老人福祉センターのお祭りにぜひ、お越しください!～

老人福祉センター お祭りのご案内



やすらぎ荘文化祭

- ▶日時 平成28年10月23日(日)～24日(月)
午前10時～午後3時
- ▶場所 やすらぎ荘(宝木本町1991-1)
- ▶電話/FAX 665-5284
- ▶内容
 - ・講座受講生の作品展示・発表会
 - ・地域協賛模擬店 など



上河内地区福祉まつり

- ▶日時 平成28年10月22日(土) 午前10時～午後2時
- ▶場所 上河内老人福祉センター(松田新田町116-1)
- ▶電話 674-4003
- ▶FAX 674-4258
- ▶内容
 - ・講座受講生の作品展示・発表会
 - ・地域協賛模擬店
 - ・地域の方々によるアトラクション など



ふれあい荘文化祭

- ▶日時 平成28年10月20日(木)～21日(金)
午前10時～午後3時
- ▶場所 ふれあい荘(陽東2-3-1)
- ▶電話/FAX 663-3156
- ▶内容
 - ・講座受講生の作品展示・発表会
 - ・地域協賛模擬店
 - ・野菜の即売会 など



すこやか荘文化祭

- ▶日時 平成28年11月11日(金)～12日(土)
午前10時～午後3時
- ▶場所 すこやか荘(下砥上町1259-3)
- ▶電話/FAX 648-7750
- ▶内容
 - ・講座受講生の作品展示・発表会
 - ・地域協賛模擬店
 - ・新鮮野菜・花の販売 など



ことぶき文化祭

- ▶日時 平成28年10月15日(土)～16日(日) 午前10時～午後3時
- ▶場所 ことぶき会館(屋板町558)
- ▶電話/FAX 656-8792
- ▶内容
 - ・講座受講生、よこかわ学童等の作品展示・発表会
 - ・地域協賛模擬店
 - ・地元新鮮野菜の直売 など





赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金



**共同募金は今年70周年を迎えました！
今年も皆さまの温かいご支援とご協力をお願いいたします。**

昭和22年にスタートした共同募金運動は、今年70回目を迎えます。長年にわたりご協力いただいた寄附者の皆さま、ボランティアの皆さまに厚くお礼申し上げます。

今年も10月1日から12月31日までの3ヵ月間、全国一斉に共同募金運動が行われます。地域住民の皆さまや企業・団体の皆さまなど、毎年大勢の方々にご協力いただき、また、たくさんのボランティアの皆さまによって支えられています。皆さまの温かい心が込められた募金は、高齢者や障がいのある方、児童・青少年の支援活動などのほか、誰もが地域で安心して暮らすための福祉のまちづくりの活動などにも役立てられています。

**平成27年度、宇都宮市内で
お寄せいただいた募金**

**赤い羽根共同募金
36,009,053円**

**歳末たすけあい募金
20,218,581円**

**皆さまの温かいご協力に
厚くお礼申し上げます。**



ありがとうメッセージ

特定非営利活動法人
宇都宮国際障がい者乗馬協会
グルースホーム ファミリア

共同募金の配分を受けて、通院等外出用の軽自動車を購入させていただきました。グルースホームでの業務として通院や買い物への同行支援をはじめ緊急時の対応など、車両を用いる場面が非常に多くありますが、今までは勤務する世話人のマイカーで対応しており、厳しい現状にありました。今回、増車させていただき、利用者さんのための活動の幅を広げることができるようになりました。

共同募金にご協力いただいた多くの皆さまのご厚意に、心からお礼申し上げます。



詳しくは、栃木県共同募金会のホームページをご覧ください。 <http://www.akaihane-tochigi.or.jp/>

【お問い合わせ】地域福祉課(総合福祉センター5階) 電話636-1215 FAX637-2020

ぎんなん基金

**ご協力
ありがとうございました。**



皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。

平成28年6月1日～8月31日

寄附順・敬称略

寄附者(団体)		金額(円)	寄附者(団体)		金額(円)
6月	宇都宮仏教会	30,000	7月	清島 武雄	50,000
	栃木美術倶楽部	10,000		清島 康伸	50,000
	築島 時三郎	3,000		築島 時三郎	3,000
7月	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	23,868	8月	日本信号(株)宇都宮事業所	400,000
	ステップ希望 会長 石川 孝子	10,500		なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	31,686
	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	16,521		ヨークベニマル 御幸ヶ原店 お客様一同	13,283

【お問い合わせ】総務企画課(総合福祉センター1階) 電話636-1215 FAX638-9856